

神経芽細胞腫マスキリーニングに関する研究

小 宮 弘 毅

(神奈川県平塚保健所)

研 究 目 的

神経芽細胞腫のマスキリーニングによる患者発見率を高め、早期治療による救命を図るため、スクリーニング実施時期の複数化の技術的な可能性を検討する。

研 究 方 法

実施時期 現在、神奈川県において行政的に実施させている6～8カ月児を対象としたスクリーニング検査に加えて、1歳前後の時期に再度検査を実施する。

実施地域 神奈川県平塚市を対象地域とする。

対象児の把握と検査用紙等の配布方法

神奈川が医療機関を定めて委託しているお誕生日健康診査の時に、委託医療機関に検査用紙セットを用意しておき、配布する。

お誕生日健康診査の受診率は約80%である。

検査機関 神奈川県衛生研究所とする。同所は現行の6～8カ月児の検査を担当している。

研 究 の 実 際

平塚保健所、平塚市医師会小児科部会、衛生研究所、こども医療センターの関係者により協議し、以下のとおりとした。

- (1) この研究事業は平塚市医師会小児科部会の事業として行い、事務等は保健所で行う。
- (2) 平塚市内のお誕生日健康診査委託医療機関のうち、この事業に協力してくれるところに検査用紙セットを用意し、受診者に渡す。
- (3) 家族は採尿して衛生研究所へ送る(6～8カ月児の場合と同様)
- (4) 検査結果については、個々の医療機関へ衛生研究所から知らせることはせず、保健所へ一括して報告する。

検討の具体的内容

平塚市のお誕生日健康診査受診者は2,500人前後であるので、この調査での患者発見は期待できない。したがって、1歳頃の検査の技術的な検討が中心となる。

すなわち、

- (1) 上記の方法で検査用紙セットの配布、検体送付、報告等が円滑に行われるか。

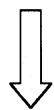
- (2) 1歳になると食事内容が複雑になるが、その場合、ろ紙検尿によるスクリーニング検査が可能か。偽陽性の増加、再検査や精密検査の著しい増加はないか。
- (3) 再検査、偽陽性等で母乳の反応、不安などにどう対処するか。
などが具体的な問題となる。

研究の進行状況

関係機関の調査を終え、現在、お誕生前健康診査委託医療機関に対し、事業への協力の可否を問い合わせ中である。

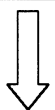
ろ紙セット（ろ紙2枚（ビニール袋入り）、送付用封筒、それらを入れる大形の封筒（尿検査の受け方が書いてある）は、6～8カ月児用のものとは別個のものを用意している。

3月頃より実際の検査が開始される予定である。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

神経芽細胞腫のマススクリーニングによる患者発見率を高め,早期治療による救命を図るため,スクリーニング実施時期の複数化の技術的な可能性を検討する。